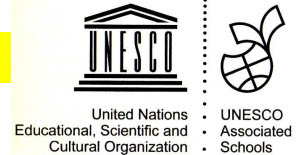


多摩第二小学校の進める Education for Sustainable Development

(教育) (持続可能な) (発展・開発)

(ESDとは、これからの社会を持続発展可能な社会としていくための教育のことです)



多摩第二小学校はESDを進める学校として、ユネスコスクールに平成23(2011)年1月11日に登録しました。

持続発展可能な社会の創造 = 2050年の大人づくり

環境・経済・社会のあらゆる面で持続発展可能な社会が実現できるよう、人格の発達をうながし、自律心・判断力・責任感などの人間性を育て、他の人や社会との関わりを深め、自然環境や資源・エネルギーについて考えて、よりよい社会を創る担い手を育てます。

平成23・24年度 多摩第二小学校で推進する ESD

人権尊重教育の視点

* 自他の違いを認め、適切に考え判断し、協力してよりよい社会をつくる意識を高める

【育てる場面】

- 各教科で基礎・基本の内容の習得を図る
- 各教科で、思考力・判断力・表現力を育て、問題解決の力を高める
- 国語や学芸会の取組で、登場人物の心情を考え、共感する
- 図工や展覧会において、他の人が描いたり、作ったりした作品のよさを感じる
- 道徳や総合、特別活動において、男女平等、子供や高齢者、障がい者、同和問題、外国人などの人権課題について、正しい理解を深め、自他の大切さを認める意識を高める
- 校内研究において、「自分の思いを進んで表現する児童の育成」を進める



(校内研究：伝え合う活動)

国際理解教育の視点

* 自己理解・他者理解・相互理解を深め、コミュニケーション能力を育て、共に生きる意識を高める

【育てる場面】

- 特別活動・行事で達成感や自己肯定感を得られるようにする
- 道徳で、自己理解や他者理解をすすめる
- 特別活動や行事で意見を表現したり、違う意見を受け入れたりしてよりよいものを作り出す
- 縦割り班活動で、異年齢の人と協力する活動の設定
- 係活動や委員会活動などで、個人や集団として主体的に活動する場面の設定
- 教科や特活での表現活動や発表およびその練習において、お互いを認め、協力して学校生活を豊かにする
- 国語や生活科、総合、特別活動等において、日本の文化や伝統に触れて理解し、大切にしていける態度を育てる
- 生活科や特別活動で、幼保の園児、中学生、高齢者と関わりを深める
- 英語活動や総合において、外国の言語や文化に触れ、他国の文化や伝統も尊重する意識をもつ

環境教育の視点

(生命尊重・栽培・食育・環境)

* 生命や自然の働きと大切さ、すばらしさを学び、自然を守る意識を高める

【育てる場面】

- 生活科や理科で朝顔やチューリップ、米、野菜などを栽培し、植物の成長を通して自然のすばらしさを感じる
- 生活科や理科で生き物の様子を観察し、生命の不思議さやすばらしさを感じる
- 理科や社会科、総合で、環境問題を学び、地球環境を保護する意識を高める
- 社会科で食料生産や国土・環境を学び、よりよい食生活について考える
- 家庭科や総合、学級活動で、食品の栄養や大切さを学び、食生活の在り方を考える
- 清掃活動により、身の回りを清潔・安全に保つ



(ゴーヤの栽培)

資源・エネルギー教育の視点

* 生活を支えている資源やエネルギーの働きや大切さを学び、適切な使い方を考え、実践する

【育てる場面】

- 社会科や理科、家庭科において、水・電気・ガスなどの資源やエネルギーの働き、大切さを知り、適切な使い方を考える
- 社会科や家庭科において、ごみ問題を考え、資源の節約や有効活用に進んで取り組む
- 社会科や学級指導でゴミの分別の大切さを学び、分別を実践する
- あらゆる場面で、物を大切にできる態度を育てる
- 節電アクション月間やCO2削減アクション月間に各学級で取り組み、家庭でも取り組もうとする意識を高める



(節電アクションの掲示と実践)

※多摩第二小学校では、人権尊重教育に重点をおいて指導を進めています。